

市立八幡浜総合病院 災害医療計画 (平成 31 年 1 月 16 日版)

本資料のデジタルファイルを以下からダウンロードできます。

<http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/d105.pdf>

(ファイル名の 105 は数字、フルサイズの資料です)



修正部分・抜粋

<http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/d106.pdf>

(ファイル名の 106 は数字、抜粋資料です)



平成 30 年度版 災害医療計画

平成 31 年 2 月 28 日 (木)、運営委員会で承認

以下、♣ は 31 年 1 月の修正・追加箇所

第1部 災害医療計画	7
第1章 総則	7
(目的)(適用範囲)	7
第2章 平常時の災害対策体制	7
(災害管理対策)(災害に対する防護のための組織)	7
(各責任者の業務)	7
(震災予防措置)	8
(定期的に自主点検・検査を実施するための組織)	8
(建物等の定期調査)(点検検査結果の記録及び報告)	8
(不備欠陥等の報告)(施設に対する遵守事項)	9
(避難経路図)	9
第3章 災害発生時の対策	12
(被災時の組織)(災害対策本部)(本部の任務)	12
(暫定災害対策本部)	12
(情報班の業務)(本部付の業務)	13
第4章 被災後の対策	13
(被災地域内の病院による初期医療対策)	13
(医療班の編成)	13
(暫定病棟の開設)(物品搬送班の活動)	13
(交通整理班の活動)	13
資料1. 救急・災害対策委員会規約	15
別表1 災害対策委員一覧表	17
別表2 災害対策本部構成表	18
別表3 緊急事態における連絡体制と参集規定等	23
♣(1) 動員基準と参集規定	23
(2) 参集猶予と参集免除について	24
イ) 参集猶予	24
ロ) 参集免除	24
表x-1. 災害時の勤務に関する届け	25
♣表x-2. 災害時の勤務に関する判定(承認)	25
表x-3. 災害時の勤務に関する判定(却下)	25
表x-4. 災害時の勤務に関する届け(撤回用)	26
(3) 緊急連絡の方法	27
イ) 電子メールによる一斉連絡	27
ロ) 電話による緊急連絡網	27
♣ハ) LINE(八幡浜hp 防災)による緊急連絡	27
ニ) 災害時の院内放送に関する注意点	28
ホ) 緊急連絡票(院内用)	28
ヘ) 医療機関 被害状況等報告書	28
EMISを使用できない場合の災害時情報伝達	29
別表3-1 災害時病棟チェックリスト	29
別表3-2 災害時チェックリスト(一般部署用)	31
別表3-3-ニ) 緊急連絡票(院内用)	32
別表3-3-ホ) 医療機関 被害状況等報告書(直後)	33
別表3-3-ヘ) 医療機関 被害状況等報告書(詳細)	34
別表4 災害予防のための組織編成表	35
別表5 自主検査、点検を実施するための組織編成表	36
別表6 自主検査チェック票(定期)	37
別表7 自主検査チェック表(定期)	38
別表8 災害下における病院状況を表すカラーコード	39

第2部 アクションカード	40
第1章 災害時アクションカードと災害時医療編成について	40
(1) アクションカード	40
(2) 時間内災害時における災害時医療の編成(職種別)	40
♣A. 医師	41
B. 看護師	41
C. コ・メディカルと事務職	42
第2章 勤務時間内の災害における責任者の業務	44
院長、事務部門責任者、副院長、診療部長、♣救急・災害対策	44
看護部長、外来部門責任看護師、病棟部門責任看護師	49
手術部門責任看護師、透析部門責任看護師	53
トリアージセンター責任者、設営、フローチャート	55
赤ゾーン責任者、設営、フローチャート	58
黄ゾーン責任者、設営、フローチャート、配置図	61
♣緑ゾーン責任者、設営、フローチャート	64
黒ゾーン責任者、設営、フローチャート	67
参考)トリアージタッグと災害用カルテ、災害用カルテ	70
紫ゾーン責任者、検査部門責任者	73
放射線部門責任者、交通整理(本部設営)班責任者	75
資材調達班責任者、搬送班責任者、情報班責任者	77
報道担当責任者、ボランティア担当責任者	80
第3章 勤務時間内・時間外の災害における一般職員の業務	82
医師(勤務時間内)、日当直医師	82
病棟看護市長(時間内)、外来看護師など(時間内)	84
日当直看護師長、初期対応フローチャート	86
医師看護師以外の医療職(時間内)	90
事務職員(時間内)、宿日直者	91
各職種共通(勤務時間外)	93
第4章 病棟火災時の対応	94
看護師:①(第一発見者)、同②(避難・誘導)	94
看護責任者:①(初動)、②自病棟が火元、③他病棟が火元	96

第3部 大津波対応編	99
第1章 「第3部(大津波・停電編)」策定の背景と狙い	99
第2章 災害対応と津波前準備	100
(1) 「災害対策本部」の設置と「災害モード」の発令	101
(2) 津波に特化した監視と情報収集の体制を加える	101
(3) 院外からの患者受け入れに関する方針	101
(4) 医療救護班の派遣	101
(5) 災害時治療ゾーン等の移転	102
(6) 停電への対策	103
(7) 地階・1階・2階各部署における津波前準備の原則	103
(8) 3階以上の各部署における津波・停電前準備の原則	103
第3章 各部署における津波前準備(各論)	104
(1) 地階、1・2階部分の各部署	104
A. 地階・1階、B. 2階	104
(2) 3階以上の各部署	106
(3) 事務局	106
第4章 津波・停電前準備における、重要な機器類等(準備中)	108
(1) 発電機	108
(2) 無停電装置等	108
(3) 医療機器	108
(4) 酸素供給に関する情報	108
第5章 津波・停電前期における勤務について	109
(1) 地震後、津波前期における職員の早退について	109
(2) 病院外で被災した場合の参集免除について	109

第4部 救護班・DMATの派遣および受け入れ手順	110
はじめに	110
第1章 医療救護班・DMATの派遣手順	110
1. DMATとは	110
資料1 DMATに関する用語の定義等	110
♣2. 愛媛DMATの活動内容と流れ(愛媛DMAT運用計画より)	112
資料2 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)	117
♣3. 当院DMATの派遣の流れ・出勤と活動内容	118
第2章 医療救護班の活動	124
第3章 医療救護班・DMATの受け入れ手順	126
第4章 災害支援ナースについて	127
A 災害支援ナースの派遣手順	127
第5章 DMATなどの資機材管理	134
DMAT標準装備(個人装備)1、2	134
DMAT標準資機材(ロジスティック関連機材)	135
DMAT標準医療機器・関連機材	137
DMAT資機材管理表(赤バック)	138
DMAT資機材管理表(黄バック)	140
DMAT資機材管理表(緑バック)	142
DMAT標準薬剤リスト	143
DMAT用備品整理簿	144
DMAT携行医薬品一覧表	145
DMAT用備品整理簿(資料3)	146

第5部 緊急被ばく医療措置マニュアル	148
第1章 緊急被ばく医療措置マニュアルの目的	148
第2章 緊急被ばく医療ならびに被ばく事故における当院の役割	148
第3章 被ばく傷病者の受入れ	148
A) 被ばく傷病者受入れ手順	148
(1) 傷病者受入れ要請の連絡	148
(参考) 発電所で用いる情報用紙	149
(2) 発電所への要請事項	150
(3) 連絡体制	151
(4) 除染室での受入れ準備	151
(図) 除染の服装	152
(表) 緊急被ばく医療 チーム役割表	153
B) 患者への対応・処置(フローチャート)	154
♣註. 専門施設等への移送を考慮する場合	155
♣C) 処置終了後の対応	156
♣D) 職種別の対応	157
(1) 医師	157
(2) 看護師	158
(3) 診療放射線技師	159
(フローチャート) 診療放射線技師	161
(4) 事務職員	162
♣資料1A 院内連絡網(勤務時間内)	163
♣資料1B 院内連絡網(勤務時間外)	164
資料2 生物学的試料採取の手引	165
♣資料3 身体除染の手引き	166
♣第4章 原子力災害拠点病院と原子力災害派遣医療チーム	168
A) 原子力災害拠点病院	168
原子力災害拠点病院等の施設要件(抜粋)	168
B) 原子力災害医療派遣チームについて	172
第5章 市立八幡浜総合病院原子力災害時避難計画	173
A) 総則	173
♣B) 原子力災害事前対策	173
C) 原子力災害応急対策	176
D) 屋内退避及び避難	178
参考1) 屋内退避時の注意点—院内配布資料の文例	179

参考2)放射性物質による汚染状況の調査	180
表. 空間線量率記録票1(院内及び病院周辺)	182
表. 空間線量率記録票2(モニタリングポスト用)	183
表 役割分担表	185
参考3)避難計画の作成	186
参考4)患者リストなど(表1-1~3-2)	187
参考5)避難患者などへの対応・処置	187
参考6)受入れ先医療機関について	187
表 原子力災害時の勤務に関する職員のグループ分け	188
参考7)勤務中の被ばく監視体制	188
参考8)被ばく線量限度と人体への影響	189
参考9)避難終了後の職員と避難先事務局の対応	189
参考10)入院患者等および職員の安定ヨウ素剤服用	189
参考11)消防職員のヨウ素剤服用に関する支援	190
表 安定ヨウ素剤服用に関する調査票(患者用)	191
表 同上(職員用)	192
表1-1. 患者リスト	193
表1-2. 患者リスト(搬送担当者用)	194
表2. 要転送患者等の人数	195
表3-1. 入院患者様 連絡先等確認用紙	196
表3-2. 外来患者 被ばく避難に関する意志等確認用紙	197
表4. 累積線量記録(個人用)	198
表5. 累積線量記録(各部署用)	199
表6-1. 放射線災害時の勤務に関する届け	200
表6-2. 放射線災害時の勤務に関する届け(撤回用)	200
♣付録 緊急被ばく医療Q&A→削除	201
緊急ひばく医療アクションカード(目次)	202
管理部門全体、病院統括者(院長)	203
病院統括補佐(全般)、統括医師(チームリーダー)	205
処置担当医師、看護師、	208
診療放射線技師(管理区域内)、同(管理区域外)	210
事務職員	212
患者に関する医学的情報を知る	213
除染時の服装、脱衣	214
処置室の資機材・医薬品の準備	216
緊急被ばく医療 資機材管理表	217
参考資料 関係箇所連絡先	220

第6部 地域の災害弱者への対応	226
第1章 災害弱者(災害時要支援者)とは	226
第2章 各論	227
(1)透析患者への対応	227
(2)在宅酸素療法患者、在宅人工呼吸器患者への対応	228
(3)糖尿病患者への対応	228

第7部 災害ボランティア・外部支援者について	230
第1章 当院の災害対応における災害ボランティアの位置付け	230
第2章 災害ボランティアの種類	230

♣第8部 南海トラフ巨大地震を念頭に置いた事業継続計画	231
はじめに	231
1. 基本的な考え方	233
(1) BCPの方針	233
(2) 策定体制	233
(3) 現況の状況	234
(4) 被害の想定	235
(5) 優先業務の抽出	238
2. BCP行動計画	239
1) 情報—診療提供能力の確認	239
2) 情報—院内体制整備の指示	240
♣3) 診療—トリアージセンター・治療ゾーン等の決定	241
4) 診療—トリアージの実施	243
5) 診療—治療ゾーンでの診療	245
6) 搬送—重症患者の搬送	248
7) 医療器材・医薬品等の調達	249
8) 医薬品の調達	252
9) 薬局業務	253
10) 食料等の調達	255
11) 患者・職員(帰宅困難職員も)のための水確保と供給	258
12) 配膳業務	260
13) 大災害後における酸素確保	262
♣参考資料 液化酸素タンクまたは酸素配管の損傷への対策	264
14) 通院患者への薬剤、処方情報の提供	264
15) 透析業務の継続	267
16) 透析継続のための連絡業務について	268
♣資料. 災害時(電話不通時)医療機関への連絡用紙(案)	270
♣17) 手術業務の継続・再開	271
♣参考資料1 ♣同2	272
18) 病棟患者状態維持と業務の継続	276
19) 撮影業務の継続	279
20) リハビリ科の事業継続(搬送班の業務を含む)	281
21) 検査業務の継続	282
22) 医療機器(医療機器室管理分)管理業務の継続	284
23) 人工呼吸治療の継続	285
24) 在宅酸素療法患者への対応	287
25) 医事業務の継続と再開(搬送班の業務を含む)	289
26) 大津波到来後の院内清潔環境の復旧	291
27) 災害時におけるトイレ管理業務	294
♣28) 大津波に備えた重要文書等の退避	297
♣29) 自家発電と燃料確保について	300
参考資料1 ♣同2	301
30) 災害時病院宿泊環境の整備	303
3. 課題と今後の取組	305
(1) 現況の課題と改善に向けた取組	305
(2) 訓練・教育の取組	305
(3) BCPチェックリスト(厚生労働省)に基く要改善点	306
(4) 点検・是正の取組	309
(5) 見直しの取組	309
♣資料. 救急・災害対策委員会および部会の委員、リンクスタッフ	310
1. 救急・災害対策委員会	310
2. 災害対策部会	310
3. 災害救援検討部会	310
4. 被ばく医療準備部会	311
5. 各部署の災害医療リンクスタッフ	312